

# J-ARCHITECT

JAKUETSU ARCHITECTURAL DESIGN MAGAZINE

ジェイアーキテクト

VOL.02



JAKUETSU



## 地域と歩んだ歴史を受け継ぎ、 周囲と調和するオンリーワンの園舎

社会福祉法人 高知県福祉事業財団 三里保育園 様

南海トラフ地震やそれに伴う津波の被害などに備えて、既存の公共施設の防炎化や耐震化が進む高知県高知市。同市内の社会福祉法人様が昭和22年に設立した保育園も、築40年を超えた園舎の老朽化により、近隣への移転新築を決定した。災害対策に加えて、地域に溶け込み、園児が安全で健康に過ごせる環境で、保護者にも喜ばれる新園舎づくりに挑戦。特徴的な大屋根が目立つ建物は、敷地のスペースを有効活用しながら、周囲の自然を屋内に取り込んだ空間構成を実現した。日々の保育における機能性と使い勝手の良さも追求し、子ども一人ひとりを大切にする保育の拠点として、地域の新たなシンボルとなっている。



社会福祉法人 高知県福祉事業財団 三里保育園 様	
所在地：高知県高知市	《園舎概要》
主要用途：保育所	構造／鉄骨造2階建（耐火建築物）
定員：135名	敷地面積／2749.68㎡
竣工：2017年11月	延床面積／818.71㎡
	建築面積／671.05㎡



〈ライトコート、図書コーナー〉 柔らかい材質のウッドデッキで、転倒時の安全に配慮したライトコート。ガラス戸を開放すると、屋内の図書コーナーと連結され、遊びのスペースが広がる



〈プレイコーナー〉 図書コーナーとつなげつつ、天井を低くして、園児たちが自由に落ち着いて過ごせる空間とした



〈廊下〉 欄間部分に過去70年の卒園写真を展示。動き回る園児たちのために広々としたスペースを確保



〈3・4・5才児保育室〉 全面でマグネット掲示ができるスライディングウォールの間仕切りは、壁に収納することで3部屋がつながり、1つの大きなホールとして利用できる



〈園庭〉 3・4・5才児保育室の専用玄関から出られる園庭。周囲は豊かな自然に囲まれ、空へと広がる園舎の大屋根の様子も一望できる



〈1階トイレ〉 カラフルな円のデザインをあしらった園児用のトイレ



〈3・4・5才児保育室専用玄関〉 園児たちが各部屋に直接出入りできる



〈0・1才児保育室ロッカー〉 部屋の中と外から出し入れでき、園児の安全に配慮



〈0・1才児保育室〉 2階に独立して配置し、低年齢児が落ち着ける環境を確保。背の低い収納棚で仕切ること、室内の開放感や園児を見守る環境づくり、将来のレイアウト変更などに対応した



〈屋外階段〉 津波発生時の2階からの避難経路として設置。保育士が往復できるように、滑り台ではなく階段とした



〈バルコニー〉 ルーバー手摺の採用で、安全性と風通しの良さを両立。低年齢児が日差しと海風を感じながら遊ぶことができる。避難用の屋外階段と直結



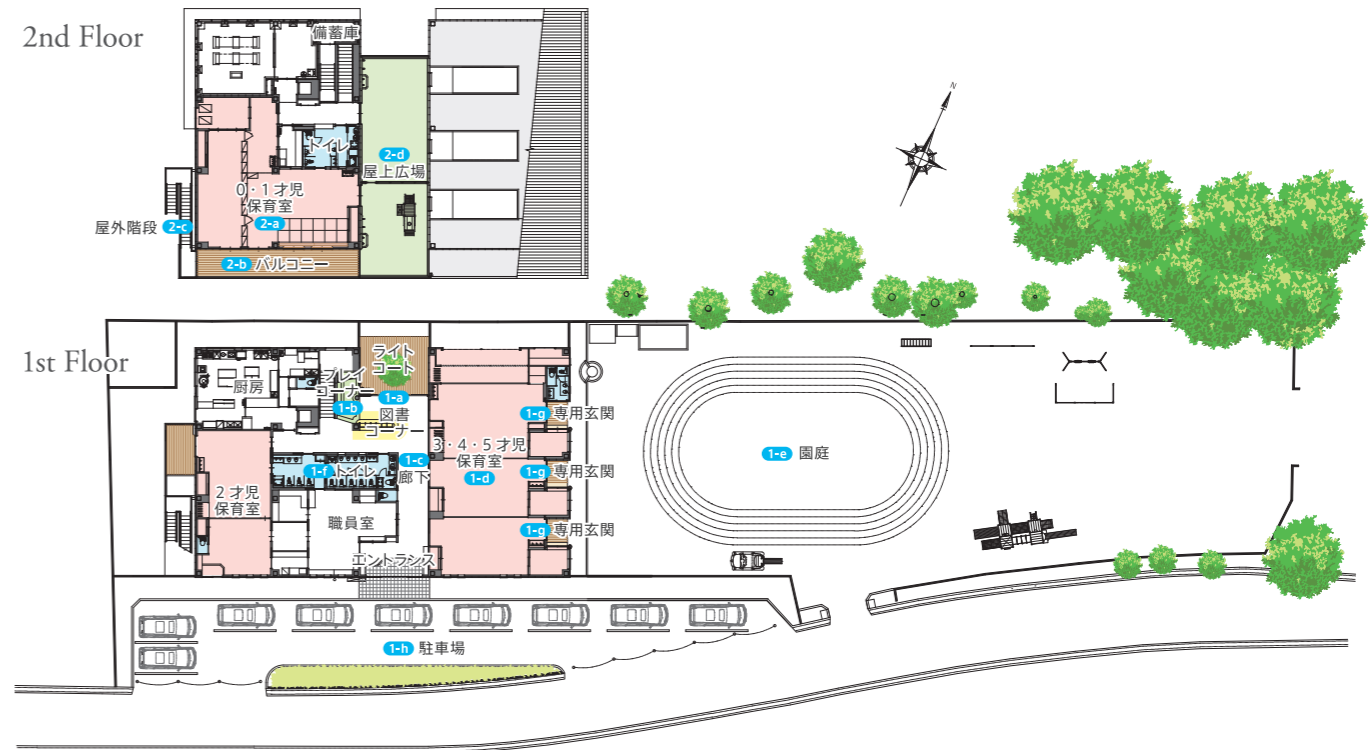
〈屋上広場〉 プールや遊具を備えた遊び場。大屋根の内側にありながら、屋外の空気と景色を感じられる

## 屋内と屋外を有機的につないで、 周辺の自然を感じられる設計に

2階建て部分と平屋部分を大屋根で一体化し、まとまりと存在感のある外観を演出。1階のライトコートや大屋根内部に納まる屋上広場は外部へと開かれ、園児たちは敷地北側にそびえる大平山の自然を肌で感じながら遊んでいる。ロータリー方式の駐車スペースは園舎玄関の広々とした軒下とつながり、送り迎えの保護者と園児が雨天時でも濡れずに車を乗降できる。3～5才児の保育室には、それぞれ専用の玄関を設けて、園庭に気軽に出入れる動線を確保した。



〈駐車場〉 ロータリー方式で送迎時の混雑を回避。玄関前の広い軒下により雨天時の乗降もスムーズ



# 園舎に込めた地域への思い

## PROFILE

社会福祉法人 高知県福祉事業財団  
 理事長 川添 義明 様 (右)  
 高知県職員として地方行政の現場に長年携わり、昭和62年からは高知県議会議員を4期連続で務める。平成24年、現職に就任。

三里保育園 園長 溝渕 佳子 様 (左)  
 昭和57年から三里保育園に保育士として勤務。平成15年には同園の主任保育士となり、同29年から現職。



## 地域に根差した保育を象徴し、現場の願いにも応えた新園舎

戦後まもなく、戦災や南海大地震の被災者などを支援する組織として発足した高知県福祉事業財団は、現在は県内で保育所や児童養護施設など5つの児童福祉施設を運営する。中でも昭和22年に設立された三里保育園は、主に周辺地区の子どもたちを受け入れ、旧園舎の建設時には地元住民から土地の提供を受けるなど、地域と深く関わり合いながら、約70年の歳月を重ねてきた。防災に対応した新園舎への移転新築計画が進行する中で、建築のテーマとして浮かび上がったのは、「地域の環境に溶け込む園舎」だった。「ジャクエツの手掛けたほかの園舎を見学した際、樹木などの植物を身近に配した設計に感心しました。私たちの園舎でも、約70年間にわたって、地域に根差した保育に

取り組んできた園の思いを表現し、周辺の自然や景観と一体になった建物として形にしてほしいとお願いしました(川添理事長)」

一方で園長をはじめ、現場の保育士たちの声を参考に、建物としての機能性や安全性、使いやすさも追求した。月1回の定例会での意見交換を通じて、屋根付きロータリーの駐車スペースや、他の部屋と独立した場所に設けた0・1才児保育室、間仕切りを開放すると広いホールとして使える3～5才児保育室などのアイデアが盛り込まれた。「分からない部分を丁寧に説明していただきながら、お子さん一人ひとりの可能性を引き出す保育を目指す私たちの思いを取り入れ、設計に活かしてくださったことに感謝し

ています。連絡や対応も素早く、設計事務所のある広島との距離がまったく気になりませんでした(溝渕園長)」

施主と設計者の理想的な信頼関係を得て完成した園舎には、解体された旧園舎の忘れ形見として、過去全年度の卒園写真が展示され、園と地域の歴史を物語る。写真に納まる卒園生の中には、今では園児の保護者として園舎を訪れる人もおり、思い出話に花が咲くこともある。「新園舎で迎えた最初の卒園式に、新しい建物に合わせてなのか、地域のご高齢者が着物で正装して参加されていた光景に感激しました。地域の誇りとなる立派な園舎に恥じないように、今後も心身健やかで感性豊かな子どもたちを育てたいものです(川添理事長)」

「地域に溶け込む園舎」とのご要望に対して、北に大平山、南に太平洋を望む立地と自然環境を最大限に活かした間取りを工夫しながら、外観はシンプルさとインパクトの両立を目指しました。今後も末長くお使いいただける建物として、当社で実績のある建材や工法を採用する一方で、各所に円のデザインを散りばめるなど、古さを感じさせない設計を試みた結果、「高知県では例がない斬新な園舎ができた」とのご評価をいただけたのはうれしい限りです。落成式の餅まきが園や地域の皆さんの笑顔であふれたように、園児たちはもちろん、保育士さんや保護者、地域の方々にとっても、温かい癒しの空間となれば幸いです。



設計担当  
 建築設計課 広島設計事務所  
 森口 浩



周囲の景色と調和させた外観



安全設計に配慮した屋内階段



歴史を語る卒園写真



明るく開放的なエントランス



春には満開の桜も見られる園庭



災害に備えて物資を保管できる備蓄庫



園内を随時カメラでチェックできる職員室



地域住民も集まって新園舎の落成を祝った餅まきの行事

# 設計事務所 ARCHITECTURE OFFICE

## 子どもたちが主役の「宮殿づくり」

ジャクエツの園舎設計のコンセプトは“子どもたちの宮殿づくり”。  
 これまでに、幼稚園・保育園専門の設計事務所として、  
 500園以上の園舎を設計させていただきました。  
 プランニングからアフターフォローまで、  
 子どもたちの成長を第一に、それを支える職員の皆さまを  
 施設設備の面からサポートいたします。

株式会社 **ジャクエツ** 環境事業  
 一級建築士事務所



### 東京設計事務所

東京都知事登録 第44805号

〒108-0074 東京都港区高輪4-22-4  
 TEL 03-5789-1100

### 名古屋設計事務所

愛知県知事登録(い-27) 第13105号

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-11-32  
 TEL 052-265-2730

### 宇都宮設計事務所

〒320-0847 宇都宮市滝谷町20-17  
 TEL 028-614-5070

### 大阪設計事務所

大阪府知事登録(イ) 第24853号

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-11-3  
 TEL 06-6471-3939

### 横浜設計事務所

〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-22-1  
 TEL 045-488-6253

### 広島設計事務所

広島県知事登録17(1) 第5246号

〒730-0843 広島市中区舟入本町6-21  
 TEL 082-531-0770

### 福岡設計事務所

〒812-0896 福岡市博多区東光寺町2-8-31  
 TEL 092-451-0117

こども環境の未来をつくる

